

☆医ケア児シンポジウム：

教育や医療、ネットワークを 発達段階に応じた支援探る 京都／鳥取

毎日新聞 2018年3月25日 地方版

<https://mainichi.jp/articles/20180325/ddl/k31/040/334000c>

> たんの吸引や胃ろうなどの医療的ケア（医ケア）を必要とする子どもは、全国に約1万7000人いると言われ、県内でも2017年度、79人が県立学校に通う。県や県教委は新年度、医ケア児の放課後の居場所作りなどに本格的に取り組むが、特別支援学校で看護師が不足する状況が続くなど課題は残る。18日には京都市内でシンポジウム「医療的ケアを必要とする子どもたちの未来」が開かれ、医ケア児を取り巻く課題や、発達段階に応じた支援の在り方を探った。【小野まなみ】

シンポジウムはNPO法人「医療的ケアネット」（京都市）が主催し、全国の医療関係者や教員ら約170人が参加。在宅移行期▽就学前▽学齢期と、成長のステップに合わせた医ケアや在宅医療について専門家が講演した。

医ケアへの取り組み方は各地の学校現場で異なる。看護師だけでなく研修を受けた教員も医ケアはできるが、県教委は研修を開かない方針で、教員と看護師が専門性に応じて役割分担をしながら連携する方法を探っている。一方、隣県の兵庫県では、研修を開催。登壇した神戸大大学院医学部保健学科教授、高田哲氏は研修の意義について、「障害児やその家族の日常生活を理解し、その子どもの次の目標や、すべき指導について考えるヒントにもなる」と語った。

一方、「豊田市こども発達センター」（愛知県）のセンター長、三浦清邦氏は、鳥取県内で特別支援学校の看護師が15年に一斉辞職した事例に言及。保護者からの相談には看護師ではなく、医ケアに精通した「指導医」を配置して対応することが大事だと指摘した。

また、小児在宅医療に取り組む「あおぞら診療所ほっこり仙台」（仙台市）の院長、田中総一郎氏は、病院と地域の診療所による情報共有の重要性を説明。「愛隣デイサービスセンター」（京都市）の所長、平田義氏は成長段階に応じた適切な医ケアを実施するには、関係機関のネットワーク構築が大切だと説いた。

重度障害のある子どもを抱える保護者らも登壇し、関係機関を調整する「コーディネーター」の必要性などを訴えた。

…などと伝えています。



医療的ケアに関するシンポジウムで、会場からの質問に答える登壇者ら＝京都市上京区で、小野まなみ撮影

▽関連……

☆小さな星の懸け橋に

毎日新聞 鳥取 2017年12月から随時連載中

<https://mainichi.jp/ch171295487i/%E5%B0%8F%E3%81%95%E3%81%AA%E6%98%9F%E3%81%AE%E6%87%B8%E3%81%91%E6%A9%8B%E3%81%AB>

*1 校内探検も「分身」で /鳥取 2017年12月14日

<https://mainichi.jp/articles/20171214/ddl/k31/040/518000c>

> 「やったー」。愛らしい顔が、ぱっと明るくなった。

県立皆生養護学校小学部3年の加藤愛美（ことみ）さん（9）は、自宅でタブレット端末を食い入るように見つめていた。画面の向こうから担任の先生の褒める声が届く度、小さな手をぱちぱちとたたいて喜んだ。

タブレットに映し出されているのは、分身ロボット「OriHime（オリヒメ）」が見ている皆生養護学校の校舎内の風景だ。オリヒメは、高さ21センチほどの上半身だけの小さな人型ロボット。マイクやスピーカー、カメラを搭載し、離れた場所から端末で操ることで、景色を見たり音を聞いたりできる。ボタン一つで腕や首を動かし、意思を伝えることも可能だ。

このオリヒメを教育現場で活用しようと今夏、県と日本財団の共同プロジェクトの一環で県内に3台が導入された。そのうちの1台を、心臓の持病で毎日登校することができない愛美さんが「分身」として使うことになった。

11月14日。約5キロ離れた自宅と学校が初めて結ばれた。この日は、担任の先生がオリヒメを台車に乗せて校舎を巡る「校内探検」。愛美さんは自宅にしながら大好きなエレベーターに乗る体験をし、友達と一緒に授業も受けた。時折誰かを見かけると、端末を操作し、オリヒメの手を上げてあいさつする。そのたびに、笑顔があふれる。【小野まなみ】

…などと伝えています。

*2 つながり少しずつ /鳥取 2017年12月23日

<https://mainichi.jp/articles/20171223/ddl/k31/040/396000c>

*3 教育現場で効果検証 /鳥取 2018年01月10日

<https://mainichi.jp/articles/20180110/ddl/k31/040/440000c>

*4 もっと、笑顔のために /鳥取 2018年01月25日

<https://mainichi.jp/articles/20180125/ddl/k31/040/553000c>

*5 運用支える先生たち /鳥取 2018年02月10日

<https://mainichi.jp/articles/20180210/ddl/k31/040/512000c>

*6 娘の成長、見守り続け /鳥取 2018年03月07日

<https://mainichi.jp/articles/20180307/ddl/k31/040/529000c>

※分身ロボット「OriHime」 <http://orihime.orylab.com/>

※NHK解説委員室 「心をつなぐ？分身ロボット」（くらし☆解説） 2018年03月20日（火）

<http://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/700/292811.html>